

よく遊ぶよく学ぶ

夏休み、よく遊んでいますか？

子どもにとって、遊びは何よりの学習なのですから……(七月号)夏休みこそ、子どもたちはよく遊んでほしい。

数年前の三月のことである。六年生が、冷たい小雨の降る中、泥だらけになって校庭で遊んでいた。担任が教えたある種の陣取りゲームである。卒業への準備も一段落したつかの間の一時のこと。教室へ帰ってきた六年生の晴れ晴れとした面々。

「ああ、すっきりした」
「ストレス解消だ」

などと言いながら、次の授業へのぞんだ。無論、よく遊んだあとだから、良く学んだことは言うまでもない。

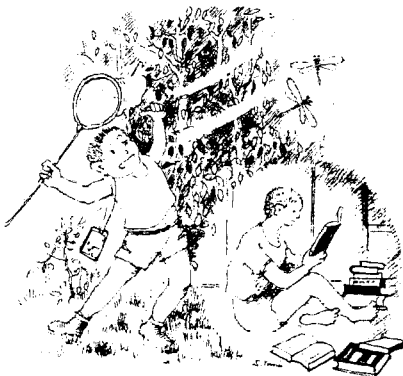
「よく遊びよく学ぶ」は心理である。「宿題したの」少しは予習、復習くらいしたら」などの小言で、子どもが勉強するだろうか。否である。よく遊んでこそ、よく学ぶのである。もちろん、よく学ばせるためには、大人の有効な一言が必要ですが……

ところで、現実には、子どもたちはよく遊んでいるでしょうか。

「子どもには、道端の石ころもダイヤと同じくらい価値あるときがあるのです(北山修)」と言うように、子どもは石ころさえ玩具にしてしまう遊びの名人であるはず。その遊びの名人が、夏休みを

もてあまし、テレビのリモコンをパチパチしたり、ファミコンに熱中したりの日々だとしたら、あまりにも情けない。(でも、これが意外と現実かも知れない)だって冷たい雨の中でも、泥だらけになって遊びに陶酔できる子どもなのですよ。

遊びこそ、陶酔であり、夢中になるものであり、一生懸命になるものである。ガキ大将のものと異年齢集団の遊びこそ、子どもの自洽の場であり、子どもの心の育つ場である。



だからこそ、夏休みに思いきり遊んでほしい。普段不十分だった遊びを取り戻してほしい。夏休みこそ、「遊びのまとめ取り」の時である。夏休みにしっかり遊んだ子どもは、きっと二期期にはしっかりと学習するであろう。

私たちは、「大人は誰もはじめは子どもだった。しかし、そのこ

とを忘れずにいる大人はいくらもいない」と、サン・テグジュペリ(星の王子様)に言われるまでもなく、子どもだったことを思い出し、この夏休みを子どもが思う存分遊べる場にさせたい。

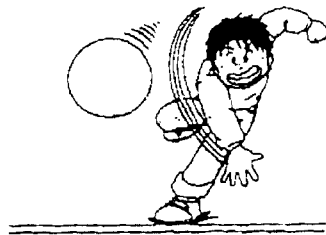
そのためには、海や山への家族旅行だけではなく、時には、大人がガキ大将になって、子どもを遊ばせることも必要ではなからうか。だって、遊びを知らない子どもがあまりにも多いのですもの。

最後に、ルソーの「エミール」から引用したい。
「自然は、子どもが大人になる前に、子どもであること望んでいる。この順序をひっくりかえそうとすると、成熟してもいない、味わいもない、そして、すぐに腐ってしまう促成の果実を結ばせることになる。私たちは、若い博士と古いこんだ子どもを、与えられることになる。子どもには、特有の見方、考え方、感じ方がある。そのかわりに、私たちの流儀をおしつけることくらい無分別なことはない」

私たち大人は、すぐ腐ってしまふ促成の果実(子ども)をつくってはならない。子どもたちに「子ども時代」を満喫させたい。そのためには遊びは欠かせない。よく遊ぶことにより、子ども特有の見方、考え方、感じ方を身に付け、やがて熟した果実(大人)が実るであろう。

さあ、もう一度、「よく遊ぶ」のまえに「よく遊べ」と声をかけよう。今は貴重な夏休みである。

ぼんが、ねむりがチャレンジャー チャレンジ大会に参加しよう



参加申込 各学校で配布済の申込書で、各地域の育成会長さんに8月10日まで申し込んでください。

種目(変更することもあります) 個人(全部でも、一部でも参加できます)
紙ちぎりのばし/豆つまみ皿うつし/かさバランス/片足立ち/空きカン積み/洗面器お手玉投げ/二重回しとび/ピンポン玉遠投/ぞうきんがけ20メートル走/一分間ジャンケン

団体(なかよしさんが10人で参加してください)
長なわ連続とび/輪ゴムリレー/いも20メートル走

主催 都留市青少年総合対策本部
市教育委員会
都留市青少年育成会連合会

日時 8月28日(日)

午前9時30分

*おべんとうを持って参加してください

場所 市民総合体育館
参加者 市内小・中学生

